



2009.12.1

国際ロータリー第2840地区

高崎セントラルロータリークラブ

会長 / 酒井 次男

幹事 / 鈴木 万佐夫

クラブ会報委員長 / 水上 勝之

2009-2010・第14号

家族月間

2009～2010年度 国際ロータリーテーマ
国際ロータリー会長:ジョン・ケニー



ロータリーの未来はあなたの手の中に
The Future Of Rotary Is In Your Hands

2009～2010年度 クラブテーマ

『協力しあい、他クラブへメイキャップへの誘い、経費の節約。』

■本日の例会：会長の日

■次回例会予定：12/15(火) 雑誌の日

・・・例会報告 / 11月10日(火)・・・

■会長の話



暦の上では冬(立冬)に入りましたが、今年は世界中陽気がおかしく景気同様大変な年ですが、皆さん頑張って行きましょう。

始めに事務局の高橋あつ子さんが突然亡くなり驚きました。

親睦の方々ご苦労さまでした。任せきりでしたので、未だに事務局のやっていた事が判らず大変です。取り合えず臨時事務局員が見つかり一安心しました。清水さんです。取り合えず2ヶ月くらいとの事、宜しく頼みます。今後の対応は皆様の力を貸して下さい。高橋あつ子さんの為に黙祷をしたいと思います、黙祷。

理事会でも話し合いましたが、今後の事務局員の方を皆さん是非責任を持てる方を推薦して下さい、検討したいと思います。

今月は例会が今日10日だけです。来週17日は振替にて3クラブ合同例会で11月16日高崎RCホストにてビューホテルで行います。再来週24日は振替にて新潟南創立50周年祝賀会で11月28日に新潟へ行きますのでお間違いない様お願い致します。尚、11月13日は金井ホスト会長宅にて第1回家族集会を行います。

フェロー
遠藤君



11月・誕生日のお祝い
左より
水上君(酒井会長) 竹内君



■雑誌紹介



今月のロータリーの友を紹介致します。

「ロータリーをロータリーに返したい」2009～2010年度の国際ロータリー(RI)テーマが「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と発表された。

ジョン・ケニー会長が語られている「ロータリーをロータリアンに返したい」の一言が氏の心根であろうし、ロータリーの現実を踏まえた生々しく重い言葉ではないだろうか。これはまさにロータリーの原点回帰を推奨するものであり、草の根の奉仕を標榜してロータリーの原点回帰の必要性を説かれた、ビチャイ・ラタクル元RI会長の主張と相通じるものを強く感じる。

近年におけるロータリーは、その原点における思想や理念を踏まえることなく、変えること、変わることがまるで美德であるかの様な流れの中で“真正ロータリー”を失いつつある。ケニー氏が職業奉仕を強調されている事に期待するとともに、現実を憂える心あるロータリアンに、勇気と希望を呼び起こすものであろう。

元RI会長は「職業奉仕を取り除けば、ロータリーは単なる社会奉仕団体となってしまいます。又、職業奉仕から倫理を取り除けば、職業奉仕は地に落ちてしまうでしょう。」と述べています。言い換えれば職業奉仕の理念によってロータリーの思想と行動の全ては貫かれているとの真意である。忘れ去られた部門、あるいは安楽死しつつあるといわれる職業奉仕の理念と行動を、信念を持って組成させることができるか否かは、“返されたロータリー”を確かな手ごたえで受け止められるだけの資質を備えたロータリアンであり続けるべきという、固い意志にかかっている。

今年は規定審議会の開催年でもあり、ロータリーの思想的節目にもなりかねない。“ロータリーがロータリアンの手にある”事を実感できる一年となるよう、ケニー会長の心根と手腕に期待せずには居られない。

■出席報告 (11月10日)

会員総数	35名
出席計算会員数	34名
当日出席者	26名
会場出席率	76.47%

例会場・事務所 / 高崎ビューホテル 高崎市柳川町70
TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733
E-mail : takasaki-cent@rid2840.jp
例会 / 毎週火曜日 18時30分